

「明治三十二年癩病患者並血統家系調」の歴史的位置

新潟・藤野

政治・社会の状況	法律「癩予防ニ関スル件」の成立過程
1894.7 日英通商航海条約締結	
1894.8 日清戦争開戦	
1897 精神病患者調査 21,104名	1897 ベルリンで万国癩病予防会議開催 1897 第1回ハンセン病患者調査 23,660人
1898.10 瘋癲人監護法案 中央衛生会に諮詢	
1898.11 中央衛生会、内相に答申	
1899.2 第13議会に精神病患者監護法案提出	1899.3 第13議会に癩病患者及乞食取締ニ関スル質問書提出
1899.3 第13議会で北海道旧土人保護法成立	
1899.7 内地雑居開始	
1900.1 第14議会に精神病患者監護法案再提出	1900 第2回ハンセン病患者調査 30,359人
1900.2 精神病患者監護法成立	
1900.10 娼妓取締規則公布	
	1902.3 第16議会で癩病患者取締ニ関スル建議案可決
	1903.5 第18議会に慢性及急性伝染病予防ニ関スル質問書提出
1904.2 日露戦争開戦	
1905 部落改善事業全国化	1905 第3回ハンセン病患者調査 37,431人 1905.2 第21議会に伝染病予防法改正案提出 1905.11 ハンナ・リデル、回春病院への援助要請
	1906.3 第22議会に癩予防法案提出
	1907.3 第23議会に法律「癩予防ニ関スル件」案提出、成立
1910.8 韓国併合	
1914.8 第一次世界大戦参戦	
1915.11 大正大礼	

参考 「ハンセン病患者に関する長野県公文書流出事件が提起した問題」(『部落解放』第809号、2021.8)
「大正大礼における精神障害者・ハンセン病患者の取り締まり」(敬和学園大学『人文社会科学研究所年報』第20号、2022.6)
『差別の日本近現代史』(黒川みどりとの共著、岩波現代選書、2015)第2章第3節